

# 第37回 沖縄がん心のケア研究会

日時：平成25年 5月 11日（土） 13：30～16：30

場所：沖縄県男女共同参画センター『ていする』（\*パシフィックホテル近く）

参加費：200円\*ご来場は、なるべくお乗り合わせか、公共交通機関の利用をお願いします。

参加対象：医療・介護・学校教育・社会福祉等、心のケアに関心のある方ならどなたでも。

～ 語りあい・分かち合い・育つ心を共につくる ～

## 『プレイバック・シアター』

13：30～

活動内容の紹介

15：00～

ワークショップ

プレイバック・シアターとは、観客や参加者が自分の体験したできごとを語り、それをその場ですぐに即興劇として演じる（プレイバックする）独創的な即興演劇。芸術的な側面を持つ一方で、その場で演じるもの（アクター）、語るもの（テラー）、観るもの（観客）が、共感や知恵、勇気や癒しをもたらされることになる。そのため、劇場の舞台はもちろん、ワークショップや教育の場、臨床や治療現場など広く活用されている。

講師：羽地 朝和氏

大学卒業後、社会産業教育研究所に営業企画として入社。交流分析・行動科学・ゲシュタルトセラピーなどに触れ、米国のエサレン研究所・オメガ研究所のワークショップに参加。またプレイバック・シアター創始者ジョナサン・フォックスの窓口を10年間担当、その指導を受ける。1993年よりNYのSchool of Playback Theatreにて学び、1998年卒業。1997年プレイバック・シアター研究所を設立。現在、様々な企業の教育研修を担当し人事・教育体系コンサルティングを行うと同時に、精神科クリニックにてプレイバック・シアターを応用した集団精神療法を担当。大学・各種専門学校で人間関係論の講座も担当している。

## 沖縄がん心のケア研究会

### 多職種で行う参加・体験型グループスーパービジョナー

「沖縄がん心のケア研究会」は、がん治療にかかわる様々な者が、職種や立場を超えて、「がん患者・家族の心のケアの均てん化」を目的として行う参加・体験型の研究会です。

“心のケアの均てん化”とは、“いつでもどこでも誰でも、同じように心のケアが受けられる”ということです。研究会では、心のケアに関する専門的な視点からの意見や見識を学び、また実際の事例を毎回参加者が持ち寄り、職種や立場を超えて意見を述べ合い、検討しています。これにより、心のケアに必要なカウンセリングやコミュニケーション技術のスキルアップのみならず、ものの見方・考え方を広げて、がん患者の心のケアの均てん化の方法を模索していきます。

スーパーバイザーは、サイコオンコロジーの第一人者である聖路加国際病院精神腫瘍科の保坂 隆先生です。

お問い合わせ先：okinawa.kokoro.no.care@gmail.com 5月担当：阿波連 090-9887-4043

ホームページ：<http://yuima-ru.umin.jp/>